

## 放射線科を受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

### 記

研究課題名	胸部大動脈解離ステントグラフト内挿後の type1a endoleak に対する塞栓術の検討
研究機関の長(試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学病院 病院長 天野哲也
研究責任者	(所属) 放射線科 (職名) 講師 (氏名) 池田 秀次
研究の対象となる方	2015 年 7 月から 2024 年 7 月の間に、B 型大動脈解離に対してステントグラフト内挿術を施行した患者さん
研究期間	研究実施承認日 ~ 2026 年 10 月 31 日
研究目的及び利用方法	<p>[研究目的] B 型大動脈解離に対するステントグラフト内挿術後は低侵襲で有効な治療方法ですが、type1a endoleak という偽腔への血流が残存した状態では治療効果が不十分になります。従来の追加治療は侵襲が大きい場合や、重篤な合併症のリスクがあり、カテーテル追加治療を行うことができれば、低侵襲で有効な方向となります。カテーテルで塞栓術を施行した症例を後方視的に評価し、塞栓術の治療成績を検討することで、塞栓術の有効性と安全性を明らかにすることを目的としています。</p> <p>[利用方法] B 型大動脈解離に対してステントグラフト内挿術を施行患者を選択し、診療情報や画像情報(CT、MRI、血管撮影)から患者背景(年齢や性別、既往、治療に至った理由)、追加の治療内容(追加のステントグラフト内挿術、カテーテルでの塞栓術、経過観察)、合併症、臨床経過を調べます。患者背景や手技内容を層別化し、技術的成功率や臨床的成功率、合併症を検討します。</p> <p>[外部への試料・情報の提供] 非該当</p> <p>[外部への提供開始日] 非該当</p>
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料：非該当 情報：診療録(カルテ)から年齢、性別、CT 画像、血管撮影画像等を収集
提供する試料・情報を用いる学外の研究	非該当

責任者	
試料・情報を利用する学外の者	非該当
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2026年8月31日までお電話により下記問い合わせ先まで申し出てください。
外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学病院 放射線科 担当者：(職名) 講師 (氏名) 池田 秀次 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 22833)